【小学校】

学校名	取組み事例
広島市立 長東小学校 口田小学校 古田台小学校 亀山小学校 湯来東小学校 湯来西小学校	○指導内容を明確にした指導を実施するため，単元の指導内容を絞り込んだ年間指導計画を作成するとともに，絞り込んだ内容について，「児童生徒に教える過程」「児童生徒ができるようになる過程」「児童生徒が学びを自覚する過程」を位置付け，児童生徒が確かな学力を身に付けることができるようにするための実践研究を進めている。 ○本年度は，言語活動と指導内容のより適切な組合せ及び，言語活動における目指す児童生徒の姿を具体的に想定することに重点を置いて取組みを進めている。
大竹市立 小方小学校	○地域ボランティア・図書委員会児童による読み聞かせ，教職員によるお話ライブ，読書タイム，音読タイム等の全校あげての取組みを行っている。
大竹市立 阿多田小学校	○ＮＩＥの実践により，新聞記事の中のキーワードを見つけ，要点を読み取る力をつける取組みを行っている。
大竹市立 大竹小学校	○全学級で特別非常勤講師による川柳教室を行い，国民文化祭をはじめ，数多くの川柳大会に出品する取組みを行っている。
廿日市市立 佐方小学校	○読書ボランティアによる読み聞かせ。 ○言語スキルを身に付けさせる学習「ことばタイム」の実施（週４回）。 ○１学期に全学級で「川柳教室」を実施。 ○言語環境の整備（廊下や階段に「詩のひろば」「国語のひろば」を設ける。
廿日市市立 阿品台東小学校	○帯タイムの活用。 月曜日・・読書タイム 火曜日・・聞き耳タイム（メモをとりながら，話を聞き，題をつけた理由や感想などを書く活動をする。） 木曜日・・ことばタイム（プリントを使って，「言語技術」習得のための練習をする。） ○自慢の俳句（金曜日に優秀作品を校内放送で紹介する。）。
廿日市市立 阿品台西小学校	○「言語技術」を活用した授業改善。 ○ショートタイム等を活用した「ことばの力」を高める取組み。 「ことばの時間」「音読タイム」「読書タイム」「ききみみタイム」 「ききみみ再話」「読む読むタイム」「ことば劇場」など ○表現し，認め合う場の設定。 「西小タイム」全校集会活動。学習したことを発表し合っている。 「全校群読」１１月に保護者・地域にむけて発表。
廿日市市立 宮園小学校	○ことばの時間の設定（年間計画を作成し，年間１５時間を目安に実施）。 ○中学校ブロックで，言語技術についての合同研修を実施。 ○作文・標語・俳句への応募。 ○自慢の俳句づくり。 ○週１回のボランティアによる読み聞かせ。

	○言語環境づくり（階段，廊下，踊り場などのスペースの活用）。
廿日市市立 四季が丘小学校	○ことばの学習週間・・朝の学習の時間に年間５回のショートプログラムを組んで，集中的に実施。
廿日市市立 浅原小学校	○俳句づくり　　　月に一度全校で取り組み，掲示する。 ○ことばの時間　　毎週一回, 言語技術を高める学習を朝の帯タイムに実施。 ○話型の掲示。
呉市立 呉中央小学校	○1 年生から 4 年生までは，各担任で年間計画に従った言語技術指導を行い，５・６年生は中学校教諭による乗り入れ授業で，言語技術指導を行うことによって，義務教育 9 年間を見通した系統的な指導を行う。
東広島市立 河内西小学校	○研究主題「言葉を大切にし，確かな読みの力を育てる国語科授業の創造 ー文学的文章の指導を大切にー　」 ・伝え合う力を高めるために①言語技術指導②ソーシャルスキルトレーニングを実施している。 ・詩の暗誦・百人一首・ことば遊び・読書・読み語り・国語スキルプリント等でたくさんの「ことば」に出会わせ（「ことば」に出会う場），詩のボクシング・よいとこカルタ作り，河内西フェスタ・作品応募等でつながりのある活動（「ことば」を使う場）にしている。
江田島市立 高田小学校	○言語技術」を効果的に活用した授業づくり。 ○高田っ子タイム（詩の音読・暗唱，一分間スピーチ，朗読聴取など）。 ○言語環境の整備（朝・昼の読書，読み聞かせ（教師，地域のボランティア）など）。
江田島市立 中町小学校	○学力向上のための授業づくり。 ○のびのびタイム（学力の向上を図る）・いきいきタイム（情報分析の技術の習得）。 ○学習環境作り（家庭学習の充実，校内掲示，読書指導・読書活動）。
江田島市立 鹿川小学校	○「言語技術」を取り入れた授業づくり。 ○コミュニケーション能力の育成（自分の考えをもち，表現する）。 ○ことばタイム（言語スキルの向上を図る）。
府中町立 府中中央小学校	○校内研修の工夫。 （学年が企画する演習・協議会の工夫） ○ステップ・アップ・リーダーによる全学年ことばの授業の実施。 ○言語環境づくり。 （ことばに関する掲示・ことばのたより発行・俳句づくり，放送での紹介等） ○発表の場の設定。 （群読発表会・調べ学習の発表，児童朝会での発表等）

府中町立 府中南小学校	○ことばの教育を活かした授業づくり。 （「書くこと」を取り入れ，適切な言語技術を活用することで，児童の思考を深める授業づくり） ○言葉の感性を高める環境づくり。 （言葉の目標《話す・聞く・話し合う》系統表作成及び掲示，児童の実態や季節に合った詩の掲示） ○高めた言葉の力を発揮させる場の設定。 （パブリックディ《地域公開》での児童発表）
海田町立 海田小学校	○研究教科の算数科において「考えをわかりやすく伝え合うこと」という項目を設け，ことばと思考をつなげる授業構成を行ったり，教室に発表形式や振り返りのポイントを掲示し，論理的に話す書く指導を行ったりしている。 ○研究 3 部会の一つに「ことばの教育」の部会を置き，主任を中心の研修を進めている。
海田町立 海田東小学校	○週２回の帯時間（１０分間）を利用して，言語技術の基礎学習を行っている。（情報の整理・描写・説明・絵の分析などのうち今年度は，書くことに重点をおいての基礎学習としている。） ○また，指導案上に論理的思考力の育成のために，どんな言語技術を意識して，児童にどんな言葉での表現を求めるのかを「見取り表」という形で書く。
海田町立 海田西小学校	○言語技術指導（年間指導計画に基づいて実施） ・ことばタイム（水・木曜日，朝の帯タイム） （水）視写　（木）言語技術 ・西小タイム　言語技術 ○読書タイム（月・金曜日，朝の帯タイム） ○その他　話型の活用（各教室に掲示）
熊野町立 第四小学校	○算数の時間，筋道を立てて説明すれば，発表者自身もまた，その発表を聞く児童も思考力が深まると考える。そのため，「はじめに」「つぎに」といったことばを大切にして発表する手立てとして短冊を作り，各教室に配付した。
熊野町内の保育園 及び幼稚園	○町内の各保育所（４園），各幼稚園（３園）に行き，広島県及び熊野町内の小中学校が取り組んでいる「ことばの教育」について説明をした。 ○７園のうち２園は，保育士，幼稚園教諭の資質の向上を目指して，夏季園内研修会で，ステップ・アップ・リーダーを講師に招き，「ことばの教育」について研修を実施した。
安芸高田市立 来原小学校	○非常勤講師を活用したステップ・アップ・リーダーによる各学年週一回の算数科での言語技術活用のためのＴ・Ｔ指導の実施 ○帯タイムを活用しての「言語技術」習得のためのスキルの実施 ○校内・町内意見発表会の実施

安芸高田市立 船佐小学校	○帯タイムの活用による「言語技術」の習得とスキルの向上 ○校内での意見発表会の実施（毎学期） ○町内意見発表会の実施
安芸高田市立 川根小学校	○始業式，終業式，修了式において，全校児童が自分自身のめあてや振り返りについて言語技術を活用して発表 ○町内意見発表会の実施
安芸太田町立 津浪小学校	○児童同士の豊かな人間関係を構築するためには，コミュニケーション能力を構築することが前提となるという仮説のもと，研究主題を「自分の考えを豊かに表現できる子どもの育成」～コミュニケーション能力を高める指導の工夫～とし，外部講師等を招聘して２つの視点でから教育研究を推進している。 １　国語科を中心とした「伝え合う力の育成」を目指しての授業改善 ・一人一人の児童に「読む・聞く・話す・書く」の基本的な技能の定着 ・自分の意見や考えを深め，明確に発信させるための指導の工夫 ２「人間関係形成能力の育成」の取組み ・全校ＳＧＥ（ 構成的グループエンカウンター） ・　ソーシャルスキル ・　豊かな体験活動の充実（３泊４日の４校合同キャンプなど）

北広島町立 八幡小学校 雄鹿原小学校 芸北小学校 雲月小学校 美和小学校	【「ことばの技能科」の設置】 コミュニケーション能力を高めるために,「論理的思考力・表現力」,「ソーシャルスキルの技能」を育てる独自のカリキュラムを作成し,年間 35 時間「ことばの技能科」を設置して取組んでいる。義務教育 13 年間を独自の期に分けている。(小学校の場合,「導入前期」,「導入後期」,「充実期」)文部科学省の研究開発校の指定を受け今年度で 4 年目になる。 【各小学校独自の取組み】 ＜八幡小学校＞ ・読書活動の推進･･･朝読書の推進，読書ボランティアによる読み聞かせの実施，目標の設定（年間の読書冊数，全校児童で１０００冊） ・書くことの充実････レポートの作成（各学期)，月１回以上の生活作文，日記の継続，算数科での論理的表現（図・ことば)，漢字検定の実施 ・発表の場の充実･･･結論先行型の話型の徹底，詩の暗誦，全校朝会での発表の場の設定 ＜雄鹿原小学校＞ ・低・中・高それぞれの発言形式の掲示，各教科の中での活用 ・NIE の環境整備のために,新聞コーナーを設置(児童に情報を提供する。) ・新聞の活用･･･切り抜き新聞，課題新聞作り ・各教科での指導において，条件を与えて書かせる等「書く」ことを積極的に取り入れ，各種作品応募 ・読書ボランティアによる読み聞かせ（月 2 回） ＜芸北小学校＞ ・夏休み親子読書感想文「ぼくの　わたしの　おすすめの本」の取組み PTA 読書推進委員会の事業の中の一つとして取組む。児童が，おすすめの本を選定・読書し，PTA 読書推進委員会が作成した用紙に内容・感想を書く。保護者はコメントを添える。２学期に校内掲示し，交流をする。 ＜雲月小学校＞ ・表現力（音声言語表現・身体言語表現）の育成･･･毎年の学習発表会での全校オペレッタへの取組 ・地域の方の昔話などの語りを聞く会（毎学期２回ずつ）の開催･･･豊かな感性を育てる。 ・毎朝１０分間の朝読書の継続 ・全校児童の前での発表の場の設定（各学級，年２回） ＜美和小学校＞ ・読書活動の取組み･･･朝読書・家庭での読書を行い，「読書貯金カード」へ記入　全校で読書３，０００冊運動 ・読み聞かせ･･･地域の方，職員による読み聞かせ ・各種コンクールへの応募･･･ことばの技能科で培った力を生かし，俳句・生活作文等をコンクールへ出品 ・全校集会･･･話し合いの充実

北広島町立 豊平南小学校	○今年度の研究主題を「豊かに感じ，深く考え，ともに高まり合う生活科・社会科学習」～「考える力」を高める“対話”を通して～とし，各授業の中に３つの“対話”の場面を設定して取組んでいる。 ・３つの対話とは,「教材との対話」「自己との対話」「他者との対話」である。特に,「自己との対話」では,「書く活動」を位置づけ，①自分の考えを明確にすること②自分の考えを多面的に問い直すこと③自分の考えを再構築することを通して思考を深める活動を積み重ねている。 ・「他者との対話」では，５Ｗ２Ｈを徹底させて,「一往復＋αの対話」が生まれるように取組みをしている。
北広島町立 豊平西小学校	○生活作文，読書感想文集の発行 ○読書認定証の発行 ○読み聞かせ（地域ボランティア，教職員） ○朝読書の実施 ○言語環境の整備（詩など児童の作品を多数掲示） ○子どもたちの挨拶
北広島町立 豊平東小学校	○３年目となるＮＩＥ（学校教育に新聞を取り入れ活かす取り組み）の取組みを継続している。言葉の教育と関連させて，新聞記事を教材化し，様々な言語活動を通して読解力・表現力を高めることを目指している。また,「読解の手引き」を作成し，５Ｗ１Ｈ等に着目して論理的に思考する力の育成に努めている。さらに，新聞から学んだことや自然や地域から感じたことを,「川柳」という形で表現し，投稿する取組みも行っている。この他にも，児童の書く力の育成を目指して，発表朝会での作文発表（全員年１回）や作文集「夢いっぱい」の発行（年２回）を行っている。
北広島町立 大朝小学校 大塚小学校 新庄小学校 （大朝中学校）	○北広島町立大朝中学校・大朝小学校・大塚小学校・新庄小学校は「確かな学力の向上と豊かな人間性の育成を実現する小中一貫教育の創造～『ことばの教育』を軸とした教育課程・指導体制の確立を通して～」というテーマで小中一貫教育の研究を進めている。 ○義務教育９年間を，基礎期４年，充実期３年，発展期２年の３期に区分し,「ことばの教育」を軸とした年間指導計画及び言語技術活用の具体的な実践事例を作成し実践している。 ○「言語技術」を高めるために，毎週１回帯タイム並びに月に１～２単位時間の「ことばの学習」は，中学校のステップ・アップ・リーダーと小学校の教員と共同で授業を行っている。このことは，小学校の教員にとっても，言語技術を活用した，確実な授業力向上につながっている。

北広島町立 川迫小学校	○本年度の目標を「本はともだち　明るいあいさつ」とし，「めざせ！　１００冊 or １００００ページ」を一人ずつ（全校児童，教職員，読書ボランティア）で取り組む。 ＜読書の記録を残す＞ ・内容を６０字以内にまとめることで要約する力をつける。 ・感想を書くことで自分の考えを表現する力をつける。 ・ファイルしたものを掲示し，友だちの書き方から学ぶ。 ・読破冊数・ページ数を記録し，読書意欲を持たせる。 ・保護者や地域の人にも取組みを呼びかけ，読書環境作りをする。 （ローテーション図書による家庭読書） ＜帯タイムの工夫＞ ・「読み取りスキル」（帯タイム）により読み取りのコツをつかみ，的確に答える力をつける。 ・「ことばのスキル」（帯タイム）により論理的思考やコミュニケーション能力を育成する。 ＜生活の場面で＞ ・新聞の切り抜きをし，要約・感想を書く。（高学年） ・生活を俳句や短歌で表現する。
北広島町立 八重東小学校	【授業改善】 ・論理的思考力・表現力を育成するための「基本話型」に基づく指導 ・言語技術を生かした授業の実践（各教科・各単元でことばの教育の視点を明確にした授業づくり，指導案に「ことばの力　活用ポイント」を明記） ・算数科を中心に「書く活動」を取り入れる（「思考を深める」「振り返り」） ・体験学習・地域学習においては，言葉づかい，適切なことばで話すことについて意識させる指導をし，学習したことは，紹介パンフレット・新聞づくり等をしてまとめ，発表の機会を設けている。 【読書活動の充実】 ・全学年で朝読書（毎日 10 分間）の時間設定 ・地域ボランティア，職員による読み聞かせの実施 【帯学習（２０分）での「ことばの学習」】 ・問答ゲーム，感想文・意見文の書き方指導，批評する力の育成 【日常生活での指導】 ・基本の「話型」を校内に掲示し，場に応じた挨拶・言葉づかいが適切にできるように指導（挨拶・職員室への出入り・ことばづかい等） 【作品展への応募】 ・各種コンクールへの学校・学級単位での積極的な応募 「教育の日の標語」「鈴木三重吉賞」「新聞コラム」等

北広島町立 壬生小学校	【群読】各学年，朝の会・国語の時間に実施 【視写】各学年，ぐんぐんタイム・ＭＩＢＵタイム・国語の時間・家庭学習・自習の時間に実施 【ワークシート】各学年，道徳の時間のワークシートは必ず升目を入れ，段落構成などを意識させている。
北広島町立 南方小学校	【話す・聞く】 ・授業の中でナンバリングや結論先行などの言語技術を活用して，自分の考えをまとめたり学習のまとめ方を工夫したりする取組みを進めている。 ・地域の方や全校児童の前でナンバリングや結論先行などの言語技術を活用したスピーチ大会を行う。 ・児童朝会・地域の方の読み語り集会等で発表を聞いた後，言語技術を活用して自分の感想を発表する場を設定している。 【書く】 ・ノートやプリントに自分の考えを筋道立てて書くことで表現力を向上させる取組みを進めている。 【ソーシャルスキルトレーニング】 ・朝会や学級活動の時間の中で，ていねいな言葉遣いや相手を思いやる言葉遣いを習得して，円滑な人間関係を築いていく。
北広島町立 本地小学校	【技能の習得】 ・朝の読書タイム，読み聞かせの充実 ・家庭学習での音読 ・学級朝会，発表朝会，総合的な学習の時間，学習発表会などの発表の場の設定 ・地域の方々，ゲストティーチャーの方々への礼状，招待状の作成 ・算数の時間を中心としたノート指導（書く活動の設定：考えを明らかにするために書く，学習感想を書く等） 【能力の開発】 ・学級討論会（ディベート）を行う ・結論先行型，ナンバリングを中心とした話型指導 ・道徳の役割演技指導 ・名文の音読，暗唱

北広島町立 八重小学校	○「事実を正確に分かりやすく伝える力」や「筋道を立てて論理的に思考・表現する力」を育成するために，取組みをすすめている。 ・保小中共に取組む指導系統表（平成１９年度，北広島町千代田ブロック確かな学力部会作成）をもとに，「説明じょうず」「聞きじょうず」という話型を作成し直し，各学級に掲示し指導を継続している。 ・「話し合う力の育成」と「温かい仲間関係づくり」をねらいとした「フリートーク」をドリルタイムに取り入れ，効果的に児童どうしがかかわり合い，コミュニケーション能力を身につけさせることができるように取り組んでいる。 ・言語環境の工夫改善として，各学年国語科に関する校内掲示物を担当月に掲示している。
竹原市立 忠海東小学校	○週１回の「東っ子タイム」で「書く」「話す」「聞く」の言語活動を系統的に設定し，言語技術の習得に取り組んでいる。算数科においては「考えのたね」と呼ぶ「思考の根拠」を明らかにしながら論理的に考え，説明する力を育成することを研究の柱として取り組みをすすめている。
竹原市立 忠海西小学校	○情報を主体的に獲得し,自分の考えを組み立てたり,分かりやすく発信したりする力を付けるために言語技術の活用を,特に図画工作科の中で指導する。また,毎日実施する「学びタイム」の場を設定し，表現力，言語技術，論理的対話等を活用させ,ことばの力の育成も図っている。
竹原市立 荘野小学校	○年間計画に沿って「ことばタイム」（週 1 回と毎月 1 回の授業）で言語技術の指導を行っている。また，ことばの力を高めるために，「びっくり帳」（毎日の出来事の中で心に残ったことを題材に，3 行日記など自由な表現で書く取組み）「音読達人」（年間 12 編以上の詩を朝の会で音読し，暗唱する取組み）などの取り組みを進めている。
竹原市立 大乗小学校	○「論理的思考力を高める国語教育の創造」のテーマのもと，国語科の説明的文章の指導，読書指導，「ことばの時間」（特設）を柱として取り組んでいる。週１時間の「ことばの時間」では，言語技術と「順序」「段落」「要旨」等の論理的思考力に係る基本的技能を修得させるとともに，教科領域等の学習のみでなく，日常生活においても活用させている。
竹原市立 竹原西小学校	○日々の教育活動に「書くこと」を位置付けている。特に，体験したこと・感じたことを表現する「川柳タイム」は全校で取り組んでいる。学期末には，「全校川柳コンテスト」を実施し,他学年同士で表現を交流しあっている。児童は，五･七･五の十七音に自分の想いを表現することができるようになっている
竹原市立 竹原小学校	○週１回，「ことばの時間」（２０分間）を設け，年間計画に基づき，各学年の実態にあわせて，問答ゲームや再話・説明・描写などを中心とした言語技術の習得を図っている。伝え合う力や考える力を育てることを通して，自分の思いや考えを表現する活動に生かしていけるように取り組んでいる。

三原市立 深小学校	○音読活動において，各月の学年の課題作品の暗唱，朗読，歌にする，身体表現にするなど多様な形式で取り組み，発表しあう。
三原市立 須波小学校	○全教科で「発言マニュアル」を活用するとともに，スピーチ・レポート・意見文・報告文作成等，言語体験を多様化していく。
三原市立 木原小学校	○国語科で活動型単元構成を工夫することを通して，論理力を身につけ，考えたことや感じたことを論理的に豊かに（表現する力）を育てる。
三原市立 和木小学校	○朝読書，お話会，家庭読書等，豊かな読書体験を通して，言語感覚を磨き「読解力」・表現力を育成する。「書く」活動を積極的に取り入れていく。
尾道市立 重井小学校	○重井幼稚園・中学校と連携し，ことばの力の育成を基盤とした授業改善に取り組んでおり，校内言語技術研修会実施，管内言語技術講習会に参加し研修を重ねている。
尾道市立 重井幼稚園	○幼児期における「ことば」を大切にする研修を重視している。
尾道市立 中庄幼稚園	○幼児期における「ことば」を大切にする研修を重視している。
大崎上島町立 大崎小学校	○週１回の「えんぴつタイム」の時間に，言語技術の習得に向けた学習を行うとともに，俳句づくりに取り組んでいる。
大崎上島町立 東野小学校	○毎週木曜日の朝会時に，言語技術指導の時間として「言の葉タイム」を設けている。また，毎月１回，俳句・川柳をつくり，掲示している。
大崎上島町立 木江小学校	○毎週２回「ことばスキル」タイムを実施し言語技術の習得と定着を図るとともに，活用場面を設定し場に対応できる言語力の育成を図っている。
世羅町立 東小学校	○国語科授業では，説明的な文章の「読解力」を高める授業改善を行っている。分析する視点の明確なワークシートの工夫や，言語技術（問答の技法など）を活用した授業展開をしている。 ○言語技術指導「全校ことばの朝会」では，学年に応じた指導内容の工夫を行っており，導入部分を全校で行い，展開部分・応用問題やまとめを各学年で行っている。特に本年度は，自分の考えを述べる時に根拠を明確にすることを重視し，指導者も切り返し発問などを行い，考えを深めるようにしている。 ○五色百人一首や俳句作り（毎月初めに一句）共通のトレーニングプリントを活用し，全校・学年部・学年別で言語技術を継続して学習している。（年間約２０時間予定）
世羅町立 西大田小学校	○日々の授業での言語技術の活用をめざし，毎学期第１金曜日の朝会「全校ことばタイム」，第１と第３金曜日の朝会「学年部ことばタイム」や毎月，第１火曜日のチャレンジタイムに各学級で指導を行っている。 ○児童につけさせたい力 １　技能の習得　　「聞く」「読む」「話す」「書く」技能を修得 ①事実を伝える(事実を正確に分かりやすく伝える) ②場面に応じて伝える(場面や目的に応じて適切に伝える)

	③情報を理解する(聞いたり，読んだりしたことを確実に理解する) ２　**能力の開発**　　「考える」「感じる」「表す」能力を開発 ①考えを伝える(筋道立てて考え，論理的に表現する) ②気持ちを伝える(感受性を働かせ，感情をこめて表現する) ③豊かなことばで伝える(ことばの豊かさを味わい，自ら豊かに表現する)
世羅町立 中央小学校	○キャリア教育推進にかかわる情報活用能力を育てる学習プログラムの中の事後学習における「練り合いの充実」を研究内容の１つにあげ，「ことば」の指導を単元計画に位置づけた取組みをすすめている。特に，集団解決の場面における練り合いを言語技術を活用することによってさらに深め，子どもたちの価値観を広げ，集団として高めていくよう考えている。 ○「聞き方・話し方のマニュアル」をあらゆる教科・領域において取り入れ，練り合いの場を増やした取り組みをすすめている。
福山市立 旭丘小学校	○「ことばのスキルタイム」の内容として，身に付けた言語技術（スキル）を活用する場を設定し，定着を図る取組みを行っている。 ○「ことばのスキルタイム」で身に付けた力を国語科・算数科・道徳等の教科・領域等で活用させることを通して，ことばの関わりを深め，論理的思考力・表現力を育てる取組みを行っている。
福山市立 中条小学校	○音読指導を行う「ぐんぐんタイム」（10 分）を毎日設定し，詩歌・古文・漢文・百人一首等の暗唱や群読に取り組んでいる。
府中市立 明郷小学校	【表現のつどい】　～楽しく・のびのび・豊かに～ ○毎学期に１回，全校児童で，「発声練習」や「学年発表」をする「表現のつどい」を実施している。物語文や詩を暗誦して発表することにより，言葉や用法を身に付けたり，はっきり表現する力を高めたりすることをねらいとして取り組んでいる。
府中市立 南小学校	○「国語力向上モデル事業」２年目の取組みとして，算数科・社会科・理科を中心に国語力の活用を重視する授業づくりを行っている。論理的思考力・表現力を育成するための「対話活動」と「書くこと」を重視し，名言や古典に親しませる「えんぴつタイム」，ノートを「学びの貯金箱」と呼んで既習事項のふりかえりに活用することに取り組んでいる。
府中市立 上下北小学校	○児童に論理的思考力を育成するために，年間１２時間の特設時間による「ことばのスキル」タイムを設け，言語技術の習得を図っている。また，それを活用してことばの力をつけていくために，「『言語技術』を活用した授業実践」，「俳句学習」，「全校集会」，「読み聞かせ」，「生き方朝会」，「各種コンクールへのチャレンジ」に取り組んでいる。
神石高原町立 三和小学校	○論理的思考力や表現力，コミュニケーション能力を育てることを目標に，「英語で遊び」「英語に親しむ」体験的な活動を中心とした英語活動に取り組んでいる。

神石高原町立 高蓋小学校	【ことばタイム】 ○言語技術獲得のためのスキル（問答ゲーム，短文づくり，再話，描写・説明文，絵の分析等）に計画的に取り組んでいる。
神石高原町立 二幸小学校	○感性・言葉・心をみがき，自己肯定感の育成をめざし，「夢プロジェクト」「ＮＩＥ活動」「交流学習」の活動を行っている。
三次市立 八次小学校	○「生きて働く『ことばの力』の育成」を研究テーマに小中連携教育をすすめている。「言語技術」を取り入れた授業改善と「ことばの力」の育成による積極的な生徒指導に取り組んでいる。
三次市立 神杉小学校	○「論理的思考力を育成する授業の創造」を研究テーマに「ことばの教育」の先進的な研究を進めている。説明的な文章における「読解力」を高める授業の工夫と「なるほどことばタイム」での言語技術指導に取り組んでいる。
三次市立 八幡小学校	○「確かな学力を育む授業の創造」を研究テーマに６年間継続して「ことばの教育」を進めている。「だれでもわかる評価読み」を創出することを目的として説明的な文章の授業改善に取り組んでいる。
三次市立 和田小学校	○「コミュニケーションで創る新しい算数学習のあり方」を研究テーマに算数科の授業改善を進めている。自力解決で見出した自分の考えを「言語技術」を活用して他者に説明することにより，理解を深める授業をめざしている。
庄原市立 東小学校	○本校では，道徳教育を中心に取組みを進めている。特に，コミュニケーション能力の育成や感情・情緒の安定の基盤となる言語活動の充実を図っている。 （例：道徳の時間に発言方法のプレートを毎回提示，児童の関わり合う良い発言はその場で随時評価） ○各学年週１時間，ことばの教育に関わる時間をとって指導している。 ・言語技術（「問答の技術」「情報伝達の技術」「認知の技術」「情報分析の技術」等） ・表現力を高める技術（俳句や短歌の創作等） ○国語科において音読に力を入れて指導している。各学年とも，音読朝会において，全校の前で発表している。
庄原市立 内堀小学校	「言葉あふるる学校～体験をことばに～」 ○本校は，文部科学省より「豊かな体験推進事業～仲間と学ぶ宿泊体験教室～」の指定を平成１９・２０年度の２ヵ年受けている。長期宿泊体験を含む，さまざまな体験を俳句に表現し，学校･学級だより，俳句集，ホームページなどで発信している。 【ことばの輝きタイム】 ○毎週火･木曜日の８：30～８：40 の時間を，「ことばの輝きタイム」とし，全校で言語技術指導を行っている。「群読」「問答ゲーム」「短文作り」「物語作り」などを通して，筋道立てて話す力や聞く力の基礎を育成している。

庄原市立 口北小学校	○「口北体操」 ・国語科の学習に，言葉を明瞭に発音するための練習や群読を取り入れている。使用する教材には詩や古典等も取り入れている。 ○「モーモー読書」 ・毎朝，登校直後の１５分間を朝の読書の時間とし，行っている。その他にも給食の準備時間に当番以外の児童が１５分間, 各教室で読書をしている。 ○「モーモー学習」 ・月・火・木曜日の朝の１５分間を「モーモー学習」と設定して，次のような内容に取り組んでいる。 ① 月曜日：「短歌・俳句」 ② 火曜日：「新聞アプローチ」（子ども新聞を読み意見文を書く。） 「イメージプリント」（影絵を見て物語を創作する。） ③ 木曜日：「読書感想文」（読み聞かせや読書の感想文を書く。） ○「ドリルタイム」 ・５校時開始前の１０分間，漢字ドリルを中心として行っている。 ＜家庭学習を中心とした取組み＞ ○「読書のあしあと」 ・読書の目標や記録ファイルを各自に持たせ，読書の推進を図っている。 ○「口北ノート」 ・国語科を中心として理解を深めさせたい言語や漢字の活用の練習を行うためのノート。国語科の学習の一部や家庭学習で，主に難語句や漢字を使った文作りを行っている。 ○「スバルノート」 ・日常の生活の中で，気がついたことや驚いたことなどを，メモとして書きためていくノート。このノートに書きためていたものをもとに短歌や俳句，作文，詩などの創作活動の材料に活用している。